

# 【分野】 技術伝承におけるテクノロジー活用プロジェクト（ハンズオン）

<p>地域中核企業 <b>株式会社千總</b> (京都府京都市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 460余年の歴史を有する京の手書き友禅の木元等の製造・販売を行う国内最大手。一点につき数十もの作業工程を要する着物を、京都府内600名以上の職人、専属の機屋を有し製作し、全国百貨店・呉服専門店に商品を卸す。構想から完成に至るまですべての工程においてディレクションを行い、一点一点を作り上げる総合プロデューサー企業。</li> <li>● 繭量にして年間およそ20トンを取扱、業界大手。蚕糸・絹業提携システムに参画し、国内の養蚕農家・製糸工場とのネットワーク（およそ60軒）を持つ。</li> </ul>
<p>ポテンシャル (強み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京友禅の工程の技術伝承をテクノロジーを用いて実施することで、日本を支えてきた産業を永続的に続けることができる。また、京都には日本を形作った伝統産業が多く残っており、応用できれば地域産業の活性化に大いに寄与する。</li> <li>● 技術継承が行われることで地域の雇用が安定する。また数量を安定して供給できれば新たな事業展開を検討でき、地域に新産業の創出を実施できる。</li> </ul>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京友禅における「職人技」と呼ばれるものの可視化・体系化：作業工程の解析、テクノロジーの状況把握、ヒアリング</li> <li>● テクノロジー応用の検証：京友禅製作過程における職人の作業をデータ化</li> </ul>

## 事業実施体制

中核企業	<b>(株)千總</b> 資本金100百万円 従業員数 94名 京友禅協同組合連合振袖製造2,224点 千總製造1,500点	伝承が困難とされる伝統産業における技術の提供 技術移転についての解析、課題の抽出 テクノロジー応用の人材教育システムの構築と応用先探索
事業実施機関	<b>(公財)京都高度技術研究所</b>	事業の実施運営・管理、成果展開検討
参画企業	<b>(株)丸染染匠</b>	作業情報を提供、技術伝承へのテクノロジー応用検討
	<b>(株)T-ROBO</b>	人の動きのデータ化検討
	千總関連職人	京都府下を中心に友禅製造に関与する職人約600人
大学・研究機関	国立大学法人京都工芸繊維大学	人間工学に基づいた職人の行動データ解析についての知見、最新テクノロジーの情報を提供(再委託先)
地方公共団体・国	京都市 産業観光局商工部伝統産業課	伝統産業振興の立場から助言
	京都市 産業観光局新産業振興室	テクノロジー応用についての助言
産業支援機関、公設試等	地方独立行政法人京都市産業技術研究所	染織技術の見地から事業を支援
その他の法人・個人	<b>(株)中央ビジネスグループ</b>	新連携で実施した人間の活動のデータ化作業に基づいたデータ化作業実施(外注先)



千總 京友禅振袖